

はじめに

修学旅行の楽しみはどんなことだと思いますか。行ったことも見たこともない場所を訪れる楽しみ、友達と一緒に時を過ごす楽しみ、美味しいものを食べる楽しみなど、たくさんの魅力があります。

修学旅行では、自由行動の時間があることでしょう。奈良を自由に見学できる時間です。どこを見学するか、あなたが決めることができます。奈良には多くの世界遺産があります。年表を片手に時代を確かめながら歩けば、歴史の流れを肌で感じることができるでしょう。また、「人びとの願い」「建築の工夫」「自然とのかかわり」など、テーマをもって見学することで、学びはさらに深まります。

この本は、皆さんの旅の計画を立てる際に、大いに役に立ちます。テーマ別のコースを示しています。大きな地図を示し、見学先がどこに位置するのかもひと目でわかります。交通手段や移動時間も示しています。おすすめスポットもたくさん紹介しています。

自由行動の計画を立てることは旅の楽しみの大きな部分を占めます。この本を活用して、あなたならではの楽しい修学旅行を計画してください。

うえきさがくえんだいがく 梅澤真一

この本の使い方

この本では8通りのモデルコースを紹介しています。興味関心に合わせて、スポットを組み合わせ、オリジナルコースをつくるのもよいでしょう。料金や時間は変更になる場合がありますので、事前に確認していきましょう。

コースを「文系」「理系」「技能教科」に分類しています。

スポット間の移動時間と移動方法を示しています。

コースでめぐるスポットを地図で示しています。

それぞれのコースのテーマです。



もくじ

奈良ってどんなところ？	4
奈良の歩き方	6
コース1 古代の歴史・文化をたずねる旅	8
コース2 奈良時代の寺院をたずねる旅	12
コース3 古代から近代まで。日本の文学にふれる旅	16
コース4 数字をとおして奈良を知る旅	20
コース5 奈良に息づく自然を知る旅	24
コース6 奈良の文化と工芸にふれる旅	28
コース7 多彩な建築を味わう旅	32
コース8 スポーツゆかりの地をめぐり、勝負運をみがく旅	36

世界遺産に登録されていることを示しています。



各スポットの公式サイト、公式SNSのQRコードを入れています。QRコードはスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ることができます。スポットの事情により、省略している場合があります（また、システムなどのやむを得ない事情により、予告なく変更または公開が中止・終了される場合があります）。
* QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

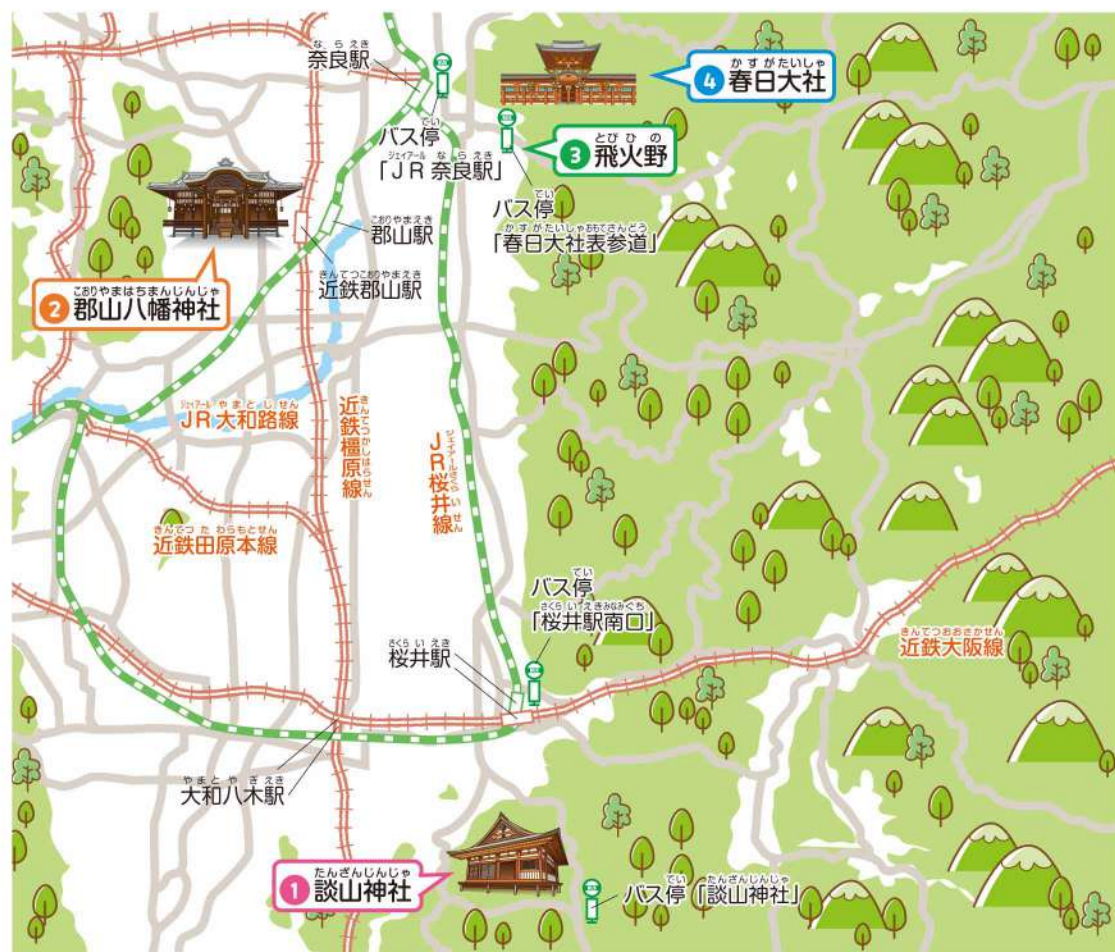
ゆかりの人物や用語を解説しています。

住所、電話番号、参拝・見学できる時間、料金、各スポットまでの行き方の例を掲載しています。

* 受付時間やお守りなどの授与品の窓口の開所時間については、事前に確認してください。
* 見学の内容によって、ここに記載されている以外の料金がかかることもあります。

スポーツゆかりの地をめぐり、勝負運をみかく旅

蹴鞠や打毬といった伝統的なスポーツから、野球やサッカーといった身近なスポーツまで、さまざまなスポーツのゆかりの地をめぐってみましょう。



談山神社



大化の改新の密談場所

談山神社は、藤原（中臣）鎌足をまつっている神社です。その昔、飛鳥の法興寺（飛鳥寺）で開かれた蹴鞠の会をきっかけに知り合った中大兄皇子と鎌足は、この談山神社の裏山で乙巳の変とその後続く大化の改新について話し合ったといわれています。そのため、この山は「談い山」とよばれるようになり、現在の談山神社という名の由来にもなりました。談山神社では、現在も毎年、春と秋に「けまり祭」が開かれ、境内で蹴鞠がおこなわれています。



蹴鞠は、鞠をけり、地面に落とさないように次の人にわたしていく貴族の遊び。

- 住所：桜井市多武峰319 ●電話：0744-49-0001 ●時間：8:30～16:30 ●拝観料：中高生600円、小学生300円
- JR・近鉄「桜井」から：桜井市コミュニティバス「桜井駅南口」→「談山神社」

郡山八幡神社



「クラブ神社」の別名をもつ神社

奈良県は、野球のクラブの生産がさかんで、その生産量は日本一です。このことになみ、郡山八幡神社では、野球の上達祈願や使い終わったクラブの供養などをおこなっています。

- 住所：大和郡山市柳4-25 ●電話：0743-52-2746
- 時間：6:00～18:00
- 談山神社から：桜井市コミュニティバス「談山神社」→「桜井駅南口」（乗り換え）近鉄大阪線「桜井」→「大和八木」（乗り換え）近鉄橿原線「大和八木」→「近鉄郡山」

スポーツにゆかりの神社

奈良には、郡山八幡神社のほかにもスポーツにゆかりのある神社がいくつかあります。そのうちの1つ、桜井市穴師の相撲神社は、力じまんの野見宿禰と当麻蹴速が力くらべをした場所であり、これが相撲の始まりといわれています。また、宇陀市にはサッカー日本代表のユニフォームでおなじみの八咫鳥をまつた八咫鳥神社があります。



八咫鳥神社にある八咫鳥の石像。頭にサッカーボールをのせている。

とびひの 飛火野



ひととが「打毬」に興じた場所

飛火野は、春日大社境内の参道に面した緑地です。芝生におおわれた開けた場所は見晴らしがよく、阿倍仲麻呂の歌（→P19）に登場する御蓋山をながめるのに最適な場所となっています。鹿を多く見られる場所でもあり、ナチュラルホルンの音色で鹿をよぶ「鹿寄せ」も、この飛火野の地でおこなわれます。



また、この飛火野は、飛鳥時代から奈良時代にかけて、馬を使った球技の「打毬」がおこなわれていたといわれています。万葉の昔から人びとが集まり、楽しく過ごした場所だったのでしょ



鹿寄せの様子。手に持っているナチュラルホルンをふいて鹿をよび寄せる。鹿にあげているのはドングリ。

「打毬」とは？

打毬は、馬に乗り、毬杖（先端に網がついた棒）をあやつって毬を運び、ゴールに投げ入れる競技です。もとは、紀元前に中央アジアのペルシアで始まったといわれています。その後、インドを経由してヨーロッパで発展したものがポロになり、東アジアで発展したものが打毬となりました。

日本には、8～9世紀に中国を経由して朝鮮半島から伝わったといわれています。奈良時代や平安時代には宮中の行事としておこなわれていましたが、鎌倉時代にはその機会が少なくなってしまいます。その後、江戸時代になると八代将軍徳川吉宗が騎馬の技をみがくのによとして、打毬が復活しました。現在、古代式の打毬は、宮内庁と山形県の豊烈神社、青森県八戸市でおこなわれています。



青森県八戸市でおこなわれている打毬の様子。江戸時代に復活した打毬の形式が受けつがれている。打毬は、赤と白の組に分かれて競う団体戦で、勢いよく行きかう馬が土煙を巻き上げる迫力満点の馬術競技。

- 住所：奈良市春日野町 ●電話：0742-22-7788（春日大社）
- 郡山八幡神社から：JR大和路線「郡山」→「奈良」（乗り換え）奈良交通バス「JR奈良駅」→「春日大社表参道」

かすがたいしゃ 春日大社

世界遺産



いろいろなご利益が得られるパワースポット

春日大社は、国を守護する神社として奈良時代に建てられ、武甕槌命、経津主命、天兒屋根命、比売神の4柱の神をまつています。また、朝廷で大きな権力をもっていた藤原氏の氏神でもあり、神社の印である社紋は藤原氏にちなんで藤が描かれています。

春日大社には、さきほどの4柱の神以外にもたくさんの神さまがまつられています。そのうち



春日大社の一言主神社。勝負をかけたい「こころ」というときに、絵馬を奉納してみては？
写真提供：春日大社

の1柱、一言主大神をまつる一言主神社は、「1つだけ願いをかなえてくださる」という神さまです。そのほかに、一生のうちのあらゆる場面の安泰を祈る「若宮十五社めぐり」、運氣上昇を祈願する「春日五大龍神めぐり」など、さまざまな参拝方法があり、いろいろなご利益を得ることができます。

回廊

中門から続く回廊には、たくさんの燈籠がつるされている。2月の節分の日と、8月14日・15日にはすべての燈籠に火をともし春日万燈籠がおこなわれる。これを再現した藤波の屋では、暗い部屋の中で明かりを入れた数十基の燈籠が幻想的に浮かび上がる様子を見ることができる。



中門

中門は本殿の手前にある、あざやかな朱色が目を引く楼門。高さは約10メートル、左右に延びる御廊は約13メートルあり、まるで鳥が翼を広げているような姿をしている。



- 住所：奈良市春日野町160 ●電話：0742-22-7788
- 時間：6:30～17:30（3月～10月）、7:00～17:00（11月～2月） ※いずれも御本社参拝所の開門時間
- 拝観料：御本社参拝所は無料。御本殿特別参拝は700円 ●飛火野から：徒歩約20分